

でんごんぱん

◆葉山まちづくり館ギャラリー 2月展示
2月1日(金)~29日(金)10時~17時30分
図書館2階(休館日はP15の図書館の休日に準ずる)「葉山まちづくり活動助成を受けた団体の展示」今年度の「葉山まちづくり活動助成」で个性的なまちづくり活動に取り組んだ各団体の実績の中間報告を展示 圖 ☎876-0421 NPO法人葉山まちづくり協会

◆定例ボランティア活動
2月9日(土)9時30分から 介護老人福祉施設「葉山清寿苑」どなたでもどうぞ 圖 ☎875-6734 大熊(町ボランティア連絡協議会)

◆映画「日本の青空」上映会
2月11日(月祝)10時・14時 逗子文化プラザなぎさホール(前売り)1,000円(当日)1,500円 保育有り(要予約) 憲法誕生の真相を大沢豊監督が劇化 圖 ☎872-7253 島村(映画「日本の青空」を逗子葉山で観る会)

◆「地球交響曲ガイアシンフォニー第2番」上映会
2月15日(金)11時・15時・19時各回30分前開場 逗子文化プラザさざなみホール(前売り)1,000円(当日)1,500円 エコキャップ運動も同時開催 圖 ☎080-6733-7988 小山内(T&T)

神奈川県スポーツ少年団空手道交流大会で第3位入賞



12月16日に「神奈川県スポーツ少年団空手道交流大会」が県立武道館で開催されました。町の代表チームが活躍し、団体組手競技の部で第3位に入賞しました。

◆うみのこびと講演会

2月16日(土)10時~11時45分 鎌倉生涯学習センター第5集会室 1,500円 シュタイナー教育講座「わかりやすいシュタイナーの人間観」講師 子安美知子 申込制 圖 ☎0467-25-6353 豊島(うみのこびと)

◆すくぱら広場「ママの美容講座」

2月18日(月)10時~12時 港湾管理事務所 有料 申込制 毎日のフェイシャルマッサージからネイルまでの美容講座 保育サポーターによる託児あり 圖 ☎080-5404-3980 葉山つつすくパラダイス

◆マイタウンティーチャー募集

今年5月開講準備中の「葉山まなびや」の講座を担当する「まちの先生(ボランティア)」

を募集 小学生に何かを教えたい大学生から一般まで(団塊の世代大歓迎) 実行委員会 2月23日(土) 圖 ☎876-3036 NPO 学舎KOCO

◆葉山アルプスハイキング

3月1日(土)9時30分 役場前集合(雨天中止) 小学生以上健脚向き 25人(先着) 200円(保険料等・当日集金) コース 役場→南尾根→三国峠→田浦梅林→田浦駅14時頃解散 約6.5km 2月27日(水)締切 圖 ☎878-7431 伊東

掲載を希望するときには、掲載したい月の前々月末日正午までに、企画調整課(☎内線333)へお電話ください。営利目的のもの、宗教・政治色の強いものは掲載できません。

葉山歌壇俳壇

短歌

岡田 保子 選

◎古き家を毀ちし空地に萩そよぐ旧地名の字菖蒲沢なれば
(評)空地の萩の一叢に着目した作者の感性が興行きのある一首をなした。昔の字名から移り代る土地への感慨・成立ち・更に「字菖蒲沢」の美しいイメージさえ浮かんできます。

今日の心満たされてあし安らぎを破る眩しさ夕茜雲
声あげて告ぐる夫なく血の色に路地の家並を染めし夕焼け
肩を寄せおみくじ見入る父と子の間にぼっかり春の生れたり
列なして青首大根干されたる三浦海岸冬風物誌
朝明けの葉山の海に晴れ晴れと八方玲瓏の富士は煌ふ
目代木は箱根の森に静もりて太古のいのち今に伝える
弟よ 雷の一打に絶たれしかひたぶるに生きし六十八年
ダンスの師に短歌ほめられ心なし軽やかに踏む今日のレッスン
破れたる網かけ直し棲みたる女郎蜘蛛やや太りてをりぬ
近藤 紘 秋吉美代子 半田 輝子 中川 弘子 多羅 空竹 鈴木 榮子 渡辺 裕子 石川サヨ子 米田 宮子

俳句 沼田葉櫻子 選

俳句 浅井 一志 選

◎晩学へ電子辞書得て冬ぬくし 石川 光子
(評)作者は、齢をとったがこれだからが学問だと、決意し辞書まで用意した。世は正に高齢化時代である。健康で長生きしたいものである。これが、冬の暖かい日が続くように「冬ぬくし」の季語に有無相通ずるところなのである。秀作。

◎控えめに紅さし逝けり冬日向 高梨 民雄
(評)紅をさすとあるから女の方の逝去ととる。前書としてはなかったが叔母トメ九十二歳天寿とあった。前書としてあればより内容が明確となる。冬日向の設定が天寿に対する作者の思いに通ずる。悲しみよりも安堵感につながるだろう。

流れ行く月日は何処へ年の夜 川崎 虎康
(評)十二月三十一日の夜を「年の夜」という。百八の煩惱を除去するという百八つの鐘が全国の寺院で撞かれる。そして新しい年がやって来るのである。とにかく「歳月人待たず」で、時は忽ち過ぎ去って行く。いろいろと考えさせられる人生を吐露された作品である。

銀杏落葉木壺も地に還りけむ 三崎 邦彦
(評)輪廻という言葉があるが、落葉も地に還ることにより再生につながるだろう。さらに作者は木壺もとらえる。
*節分の日のやはらかき裏鬼門
北国や無人駅舎の黄水仙 石井富貴子
湯冷めして明日の天気予報聞く 村上 権次
時雨るるや山より海へ閻動く 石川 光子
素心もて茶の交わりや石路の花 安藤とみ子

板庇くぐもる音や春時雨 近藤 紘
*節分の陽は柔らかき裏鬼門 伊藤 落官
ぼる市に探す打出の小槌かな 村上 権次
円陣の落葉の芯に立つ櫛 伊藤 青風
もの干せば目に真直ぐに冬日射す 米田 宮子

◎特選 *共選

締切は、掲載希望月の前々月末日必着。はがき1枚に、一人3首か3句まで(当季雑詠)、住所、氏名、電話番号を書いて、企画調整課「葉山歌壇俳壇係」まで